

もしかしたら

こうじのうきのうしょうがい

高次脳機能障害

かもしれません



事故で頭を打って



脳の疾患になって

その後、このようなことでお困りではありませんか？

注意障害

- ・ぼんやりしている
- ・気が散りやすい
- ・複数のことをしようとすると混乱する



記憶障害

- ・新しいことを覚えにくい
- ・約束を忘れやすい
- ・何度も同じことを聞く



遂行機能障害

- ・計画や予定をたてにくい
- ・人に指示してもらわないと何もできない
- ・行動の途中で混乱する



社会的行動障害

- ・すぐに他人に頼ろうとする
- ・欲求が抑えられない
- ・場違いの場面で怒ったり笑ったりする
- ・相手の立場や気持ちを思いやることが出来ない
- ・一つのものにこだわる



その他

- ・病識の欠如
- ・失行症
- ・失語症
- ・半側空間無視
- ・失認症
- など

相談窓口

支援拠点機関

松山リハビリテーション病院
089-975-7427

相談支援協力機関

片木脳神経外科 0898-22-1102

家族会

愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」
090-6284-5482

保健所等

愛媛県今治保健所 0898-23-2500

今治市基幹相談支援センター 0898-22-6017

今治市障がい者生活支援センター 0898-23-1747

今治市障害者地域活動支援センターときめき
0898-34-3081

指定相談支援事業所 今ねっと 0898-23-4080

【発行】愛媛県今治保健所 健康増進課 精神保健係

〒794-8502 今治市旭町一丁目4番地9 0898-23-2500（代表）

R4年10月1日作成

高次脳機能障害

● ● ● ● あなたに出来る生活の工夫 ● ● ● ●

当事者の対策

支援者側（ご家族等）の対応

注意障害

- ▶ 規則正しい生活をする
- ▶ 五感を最大限に利用する
- ▶ 適宜休息をとる
- ▶ アラームを利用する
- ▶ 頻回に確認したり、質問する習慣をつける

- ▶ 抑揚をつけて話をする
- ▶ 指示は、単純明快に伝える
- ▶ 課題を遂行できるようゆっくり時間を与える
- ▶ 環境刺激を少なくする
- ▶ 課題は、本人の興味のあるものにする
- ▶ 情報量が多い時には、重要な箇所にマーキングをする
- ▶ 相手が自分の方を見ているか確認して話す
- ▶ 話が逸れ始めたら、元的话题に戻る

記憶障害

- ▶ 外的補助手段を活用する
 - ▣ メモを取る・ICレコーダー・カレンダー・アプリを使う
- ▶ 目につく場所にボードを設置する
- ▶ 物を置く場所を決める
 - ▣ 棚にはラベルを貼る
- ▶ 行動を習慣化していく
- ▶ 日記をつける

- ▶ 情報や指示は、簡潔に伝える
- ▶ 指示の内容を繰り返したり、メモを取るように伝える
- ▶ 作業工程が分かるように、チェックリストや付箋を活用する
- ▶ 情報を伝えっぱなしにしない
- ▶ 言語性記憶・視覚性記憶を評価して支援する

遂行機能障害

- ▶ 一度にたくさんの作業をしない
- ▶ 一日の予定をタイムスケジュールで立てる
- ▶ チェックリストやTO DO Listを利用する
- ▶ 優先順位をあらかじめ考えておく
- ▶ 作業工程を付箋に書き、終了ごとに付箋を剥がす
- ▶ 外的補助手段を活用する
 - ▣ タイマーの利用

- ▶ 一度にたくさんの指示を出さない
- ▶ 具体的に指示を出す
- ▶ 視覚的に分かりやすく工程を書き出す
- ▶ 単純な作業や日課をパターン化する
- ▶ 見通しが立てやすいように工夫する
- ▶ 時間に余裕をもって行動できるように一緒に計画を立てる
- ▶ アラームを活用し本人が気づくような環境調整をする

社会的行動障害

- ▶ 行動する前に、ワンテンポおく
- ▶ イラっとしたら深呼吸する、10秒数える
- ▶ 一時的に一人になる（タイムアウト法）
- ▶ 行動を振り返る
- ▶ イライラする原因やきっかけを知る
- ▶ 自分の特徴を理解した人に伝えられるようにする

- ▶ 無気力な場合は、好きなことを理解し興味がもてるような工夫をする
- ▶ イライラする原因やきっかけを知る
- ▶ 一人になれる場所や時間を保証する
- ▶ フィードバックをする
 - ▣ いいところは褒める
 - ▣ 何故、不適切であったか、また具体的な対策も提示する
 - ▣ 本人と一緒に考える
- ▶ 他人に危害を加えるような行動や反社会的な行動は断じて禁じる
- ▶ 薬物治療が有効

